

片平まつり 2025 に参加し、災害科学国際研究所企画「答えてみよう！聞いてみよう！実験やゲームで学ぶ災害の科学」を実施しました（2025/10/11）

テーマ：片平まつり、東日本大震災、防災、災害対応、教育

会場：東北大学災害科学国際研究所（仙台市青葉区）

URL：https://irides.tohoku.ac.jp/event/event_jn/detail---id-6329.html
<https://www.katahira-f.tohoku.ac.jp/>

片平まつりは、東北大学の附置研究所やセンター等が、片平キャンパスを中心に2年に1回開催する一般公開イベントです。2023年10月11日（土）9:00～16:45、「東北大学附置研究所等一般公開 片平まつり 2025」が開催され、災害科学国際研究所（IRIDeS）も青葉山新キャンパスにて参加しました（同日 9:30～16:45）。当研究所は、「答えてみよう！聞いてみよう！実験やゲームで学ぶ災害の科学」をキャッチフレーズに、災害科学国際研究所棟1階にて以下の6企画を実施しました。

■『免震模型展示・実験』（企画：地震工学研究分野 五十子幸樹教授）

・小型卓上振動台を使って耐震・免震の揺れの違いを示し、耐震構造・免震構造の違いを体験する。耐震工学の研究に携わる大学院生が、建築物耐震に関する質問に答える。

■『断層（地震活動）が作った仙台の地形』（企画：陸域地震学・火山学研究分野 遠田晋次教授）

・仙台市の地形を立体模型とアナグリフ（立体視めがね）で示し、広瀬川が作った河成段丘や市内を貫く長町一利府断層帯について示す。地震発生のしくみを簡単な断層模型実験で紹介する。

■『津波避難ゲーム（ボードゲーム）で、かしこい逃げ方を考えよう』（企画：レジリエンス計画研究分野 奥村誠教授）

・ボード上のマス目でコマを動かしながら、多くの人が早く安全な場所に混雑を避けて避難できる方法を確認する。自分だけでなく他の人の安全も考える重要性を学ぶ。

■『災害から身をまもる～ココロとカラダの反応を知っておこう～』（企画：災害精神医学分野 濱家由美子助教）

・クイズを通じて災害時に心身に生じる変化と対応策について紹介する。津波避難シミュレーションVRと歩行コントローラーを装着して、架空の津波映像を見ながら避難行動を体験する。

■『ぼうさい宝探しゲーム in 災害研 ～さいがい犬イリからの密命～』（企画：防災教育実践学分野 佐藤健教授）

・宝の地図（フロアマップ）を手に、謎を解き明かしてIRIDeS内のどこかに隠された「宝箱」を見つけ出す。その過程で防災に関連した設備や装備、備品等に気づき、建物内の防災対策を体感する。

■『鉄道模型運転で学ぶ「カケアガレ」防災演習』（企画：防災社会推進分野 吉田浩教授）

・鉄道模型運転で防災を学ぶ。

今回の片平まつりは、2017年以来の通常開催となりました（片平まつり2019は台風のため中止、2021は新型コロナウイルス感染症対策として完全オンライン開催、2023は対面開催なるも感染症対策ですべて事前予約制）。今回は片平キャンパスと青葉山新キャンパスをつなぐシャトルバスも運行され、参加者が片平・星陵・青葉山新キャンパスにて多くの企画に参加すれば記念品をもらえるスタンプラリーも実施されました。

当日はあいにくの雨となりましたが、災害メカニズムについて熱心に質問する子どもの参加者もみられ、IRIDeSには子どもから高齢者まで幅広い年代の240名程が訪れ、楽しく和やかなイベントとなりました。

本件の運営は遠田晋次・片平まつり2025災害研実行委員長、6企画にかかわる教員、各部門の教職員、事務局、広報室、学生が協力して行いました。

文責：広報室
（次頁へつづく）



受付



『免震建物展示・実験』



『断層（地震活動）が作った仙台の地形』



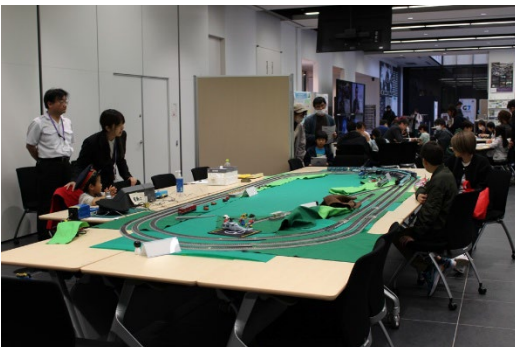
『津波避難ゲーム（ボードゲーム）で
かしこい逃げ方を考えよう』



『災害から身をまもる～ココロとカラダの
反応を知っておこう～』



『ぼうさい宝探しゲーム in 災害研
～さいがい犬イリからの密命～』



『鉄道模型運転で学ぶ
「カケアガレ」防災演習』



会場の様子